

令和 5 年度（2023 年度）赤潮対策養殖漁場調査支援事業に係る赤潮被害アンケート調査データ入力業務委託仕様書

1 委託業務の名称

令和 5 年度（2023 年度）赤潮対策養殖漁場調査支援事業に係る赤潮被害アンケート調査データ入力業務委託

2 委託期間

契約締結日から令和 6 年（2024 年）2 月 16 日（金）まで

3 委託業務の内容

（1）調査票の受取、開封

委託期間内に委託者から計 4 回程度に分けて調査票（紙）を送付するので、封筒を受け取り、開封する。また、計 2 回程度に分けて調査票（電子データ）を電子記録媒体（CD-R 等）により送付するので、受け取り、開封する。

（2）調査票の計数、整理及び保管

同封する調査票リストと調査票（紙、電子データ）を照合し、枚数等の計数確認、整理を行い、適切に保管する。なお、調査票（紙）は合計最大 1,000 枚程度、調査票（電子データ）は合計最大 2,000 枚分程度の送付を見込む。

（3）調査票（紙）記載事項のデータリスト入力

委託者から別途送付する表計算入力様式（Microsoft Office Excel、以下「ファイル」）に、調査票（紙）の記入内容を入力する。なお、調査票リストにある記載順に入力することとする。

（4）調査票（電子データ）記載事項のデータリスト入力

（3）と同様のファイルに、調査票（電子データ）の記入内容を入力する。なお、調査票リストにある記載順に入力することとする。

（5）生簀の緯度経度推定とデータリスト入力

調査票（紙、電子データ）とともに送付される生簀配置図をもとに、地図アプリ等で生簀の緯度経度を推定し、（3）と同様のファイルの該当部分に入力する。なお、緯度経度は度表示（dd）とし、小数点以下第 6 位までを記入すること。

（6）ファイルの取扱い

調査票の情報は 1 つのファイルに全て入力することとする。

（7）調査票の返送

ファイルへの入力終了した調査票（紙、電子データ）は、随時、委託者に返送することとする。この際、返送に係る費用は受託者が負担するものとする。

（8）成果品の提出

ファイルを電子記録媒体に格納し、上記 2 の期間内に委託者に送付する。なお、成果品の送付に係る費用は受託者が負担するものとする。

4 業務スケジュールの目安

（1）委託者からの調査票の発送

契約締結日から令和 6 年（2024 年）1 月 19 日（金）まで

（2）調査票の返送及び入力データ（成果品）の提出

令和 6 年（2024 年）2 月 16 日（金）まで

5 成果品

電子記録媒体 2 部（CD-R 等）

6 著作権

- （1）本業務により作成した成果物は、委託者に帰属するものとする。
- （2）本業務により作成した成果物は、委託者が許可した者のみ使用できるものとする。

7 その他

- （1）受託者は、業務上知り得た情報を第三者に漏らし、又は他の目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。
また、特に個人情報に関わる情報の取り扱いについては、常時、委託者の指示に基づくものとする。
- （2）受託者は、本業務の実施にあたり、委託者と十分な打合せを行うとともに、作業の進捗状況を委託者の求めに応じて報告するものとする。
- （3）受託者は、業務遂行上必要と認められるものであって、本仕様書の解釈に疑義が生じた事項及び本仕様書に明記していない事項については、委託者と協議の上、委託者の指示に従う。
- （4）委託者は、本業務の実施にあたり、受託者が必要とする資料や情報等の提供について、出来る限り協力する。

8 納入場所

〒863-1901

熊本県天草市牛深町 3465

熊本県海水養殖漁業協同組合

(入力方法)

- ・区画番号欄番号 (15文字切替)
- ・員番号セルの右上の▼印のあるセルは、カードセルをそのセルに合わせられ、コメント表示 (選択肢等) が表示されます。なお、セレクトでは表示されません。

令和5年度 赤潮被害調査アンケート

地区名 御所浦

業者・氏名 ○○水産 (○○ ○○)

※原則として、生簀1台毎に回答して下さい(生簀50台あれば、本紙50枚必要です)。
記載内容が同じ場合に限り、該当する生簀はまとめ書き可です

飼育	魚種名、年齢、平均体重	魚種 (マダイ)、年齢 (2才)、平均体重 (0.8kg)
漁場情報	区画漁業権番号	天区第566号
	漁場名	○○
	生簀番号 (記載内容が同じ場合、該当する生簀はまとめ書き可)	(生簀配置図を添付し、生簀配置図には通し番号を記載のこと) 生け簀No. 1 ※複数の場合 ○～○ 計 ○台
	水深	30m
網の種類	潮流	☒ 速い (2ノット程度) ☐ やや速い ☐ 普通 ☐ 遅い
	網種類	化繊網
	網形状	☒ 丸形 直径 5m × 網丈 10m 目合 50mm 計 10台 ☐ 角形 一辺の長さ m × 網丈 m 目合 mm 計 台
被害発生状況	網の汚れ	少ない
	赤潮被害発生の有無	☐ 有 ☐ 無
	被害発生期間	7月21日 ～7月27日
	被害発生ピーク	7月27日
	被害発生前在池数	30,000尾 ※複数の場合 1台当たり 尾数 丸形 (30,000) 尾 角形 () 尾
被害発生状況後の	被害尾数 (へい死魚数)	15,000 尾
	被害状況 (へい死、生育不良、スレ等)	☐ 有 ☐ 無 被害尾数 (へい死魚数) 1,500尾 具体的な症状 (鰓の損傷、表皮の潰瘍)
	考えられる要因	☒ 赤潮による体力消耗 ☐ スレ ☒ 疾病 ☐ 投薬 ☐ その他 ()
	対策等	☒ 餌止め (7月20日 ～8月5日) ☒ 足し網 (既存網10m⇒足し網15m) ☐ 網丈の確保 ☒ 粘土散布 (商品名: クニボンドRT) ☐ その他 ()
餌	赤潮被害情報の共有化について	☒ 賛成、 ☐ 反対、 ☐ 条件付き賛成 (匿名化等) ()
	赤潮前最後に給餌した日	令和5年7月19日
	餌止め開始直前の状況	☒ 餌食い良好、 ☐ 餌食い不良
	餌の種類	EP、 混込EP、 DP、 OMP
	MPの場合、原料魚の種類	カタクチイワシ
薬	添加剤、栄養剤の種類	なし
	7月～8月の投薬、ワクチンの種類	投薬 (OTC投与)、ワクチン実施なし
その他	【備考】 ①生簀の設置場所の特徴、②生簀の沈下、漁場移動した場合、その状況、③対策の実施に必要な情報、④その他どんなことでも良いので、今回の赤潮で気づいたこと等を記入して下さい。 (例1: 潮流が非常に早い。 例2: 赤潮発生の翌日に5m沈下。移動前の場所: ○○⇒移動後の場所: ○○ 例3: 潮流 例4: 隣接した生簀で一方はへい死。もう一方はほとんど死ななかった。) 赤潮対策として、足し網を実施した結果、実施しなかった生簀と比較して被害が少なかった。	

[illegible]